

高知市立自由民権記念館企画展

中江兆民の代表的著作である『三酔人経綸問答』の自筆草稿が新たに発見され、国文学研究資料館の所蔵となりました。

『三酔人経綸問答』は、「洋学紳士」、「東洋豪傑」、「南海先生」の三人が、酒を酌み交わしながら、小国日本がいかにして独立を保持するかなど、日本の針路について議論するという内容で、明治20（1887）年に出版されました。

『三酔人経綸問答』の草稿は、これまで個人蔵のものが知られていましたが、今回出現した草稿は、従来知られていなかった兆民の自筆草稿であり、兆民がこの著作をどのように書き進めていったかを知ることができる貴重な資料です。

自由民権記念館では、国文学研究資料館と共催して、この自筆草稿と館所蔵の兆民資料、さらに個人所蔵の資料も出品していただき、この機会に中江兆民の生涯と業績をたどる企画展を開催します。

130年後の君たち！
草稿を見に来てくれたまえ。



2016(平成28)年

10月8日(土)~12月25日(日)

自由民権記念館 2階特別展示室

※常設展観覧券が必要です。

休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土日は除く)

駐車場
あります。

〔主催〕 高知市立自由民権記念館

大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館

《お問い合わせ先》 高知市立自由民権記念館 高知市棧橋通4丁目14-3

TEL 088-831-3336

中江兆民と『三酔人経綸問答』 — 1世紀の時をへて出現した自筆草稿 —